

令和 8 年 度

市立双葉小学校 B 棟トイレ整備機械設備修繕

設計書

相模原市











機械設備修繕

[illegible]

[illegible]



機械設備修繕						
2. 給水設備						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VB) 改修	ねじ接合 機械室・便所 80A	2	m			
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VB) 改修	ねじ接合 機械室・便所 65A	4	m			
給水・塩ビライニング鋼管 (SGP-VB) 改修	ねじ接合 機械室・便所 50A	9	m			
給水・耐衝撃性ポリ塩ビ管 (HIVP) 改修	機械室・便所 50A	13	m			
給水・耐衝撃性ポリ塩ビ管 (HIVP) 改修	機械室・便所 40A	10	m			
給水・耐衝撃性ポリ塩ビ管 (HIVP) 改修	機械室・便所 25A	27	m			
給水・耐衝撃性ポリ塩ビ管 (HIVP) 改修	機械室・便所 20A	100	m			
保温工	給水設備	1	式			
ゴムシートハーフライ弁	10K (ウエハー・ア&M) 80A	1	個			
仕切弁 (管端防食コ)	10K (ねじ・給水用) 50A	3	個			
配管切断費	(給水設備)	1	式			
機械はつり補修	(給水設備)	1	式			
あと施工アンカー		1	式			
土工	給水設備 根切 (人力) 3.8m3程度 埋戻 (人力) 2.3m3程度 埋戻し (D種) 1.5m3程度 敷き均し 1.5m3程度	1	式			
水質検査費 (14項目)		1	か所			
計						

機械設備修繕 3. 排水設備						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
◆排水管						
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 改修	機械室・便所 100A	27	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 改修	機械室・便所 75A	17	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管 (VP) 改修	機械室・便所 65A	3	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 改修	機械室・便所 50A	17	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 改修	地中配管 100A	2	m			
建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (FVP) 改修	機械室・便所 100A	27	m			
建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (FVP) 改修	機械室・便所 75A	30	m			
建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (FVP) 改修	機械室・便所 65A	5	m			
建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (FVP) 改修	機械室・便所 50A	21	m			
◆通気管						
通気・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 改修	機械室・便所 65A	2	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 改修	機械室・便所 50A	5	m			
通気・建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (FVP) 改修	屋内一般 100A	13	m			
通気・建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (FVP) 改修	屋内一般 75A	11	m			
通気・建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (FVP) 改修	機械室・便所 65A	7	m			
通気・建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (FVP) 改修	機械室・便所 50A	27	m			
化粧用床掃除口	100A SUS製	9	個			
プラスチック柵	柵径200φ 最大排水管径100φ 90L、45L 塩ビふた付 ～500	1	組			
配管切断費	(排水設備)	1	式			



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

## 相模原市環境方針

本市は、「相模原市環境基本条例」の基本理念に則り、望ましい環境像「人と自然が共生するまち～市民と築く、地域循環共生都市さがみはら～」を実現するため、事務事業の実施に当たり、以下のとおり、取組目標を設定し、継続的改善を推進します。

- 1 「相模原市環境基本計画」に基づき、環境関連施策を推進し、事務事業の実施に伴う環境負荷の低減を図ります。
- 2 地球温暖化対策や循環型社会の形成などを推進するため、再生可能エネルギー等利用設備の導入、省エネルギー機器の導入、公用車適正利用の推進、ごみの減量化・資源化の推進、資源・エネルギーの有効活用に取り組めます。

令和2年4月1日

相模原市長

### 【相模原市環境基本条例 基本理念】

- 1 環境の保全及び創造は、市民が健康で安全かつ文化的な生活を営むことのできる自然と調和の取れた豊かな環境を確保し、及び向上させ、並びに将来の世代へ継承していくことを目的として行うものとする。
- 2 環境の保全及び創造は、環境に関する資源の有限性を認識するとともに、その適正な管理及び利用を図り、もって環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な社会を構築することを目的として行うものとする。
- 3 環境の保全及び創造は、市、事業者及び市民相互の協力の下に行うものとする。
- 4 地球環境保全は、人類共通の課題であるとともに市民の健康で安全かつ文化的な生活を将来にわたって確保する上で極めて重要であることから、積極的に推進するものとする。